⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

社会資本整備事業の収支は、収入1,677億円、支出5,874億円、差引き4,196億円の支払超過であって、前年同期（2,625億円の支払超過）に比べ、1,571億円支払超過額が増加した。

保険の収支は、収入10兆9,987億円、支出16兆9,367億円、差引き５兆9,380億円の支払超過であって、前年同期（６兆6,009億円の支払超過）に比べ、6,629億円支払超過額が減少した。

３　国債等・国庫短期証券等

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第３・四半期 発行(借入)	償還	差引き	前年同期 発行(借入)	償還	差引き
国債等	360,046	173,643	186,404	323,918	188,070	135,848
国債(１年超)	350,546	170,361	180,185	320,407	187,778	132,629
借入金	9,500	3,282	6,218	3,511	292	3,219
国庫短期証券等	1,067,197	874,511	192,686	1,136,838	1,059,268	77,570
国庫短期証券	941,197	745,511	195,686	1,010,838	933,267	77,570
一時借入金	126,000	129,000	△ 3,000	126,000	126,000	△ 0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、18兆6,404億円の受取超過であって、前年同期（13兆5,848億円の受取超過）に比べ、５兆555億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行35兆546億円、償還17兆361億円、差引き18兆185億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入9,500億円、償還3,282億円、差引き6,218億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、19兆2,686億円の受取超過であって、前年同期（７兆7,570億円の受取超過）に比べ、11兆5,115億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行94兆1,197億円、償還74兆5,511億円、差引き19兆5,686億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入12兆6,000億円、償還12兆9,000億円、差引き3,000億円の支払超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 17,406	△ 78,653	△ 96,060
特別会計等	△ 99,883	119,472	19,588
財政投融資	8,166	△ 34,370	△ 26,204
社会資本整備事業	△ 4,196	3,623	△ 574
外国為替資金	△ 270	7,964	7,693
保険	△ 59,380	57,267	△ 2,114
その他	△ 44,202	84,988	40,787
小計	△ 117,290	40,818	△ 76,471
国債等	186,404	△ 13,556	172,848
国債（１年超）	180,185	△ 13,179	167,007
借入金	6,218	△ 378	5,841
国庫短期証券等	192,686	△ 27,262	165,423
国庫短期証券	195,686	△ 30,998	164,688
一時借入金	△ 3,000	3,736	736
合計	261,800	—	261,800
調整項目	135	—	135
総計	261,934	—	261,934

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第３・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 202,567	△ 56,096
特別会計の債券売・買(△)	11,557	21,562
財政投融資	47,790	6,300
国債整理基金	△ 36,233	15,262
その他	△ 65,335	△ 47,719
計	△ 256,345	△ 82,253

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、25兆6,345億円の支払超過であって、前年同期（８兆2,253億円の支払超過）に比べ、17兆4,092億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達３兆2,563億円、資金返済23兆5,130億円、差引き20兆2,567億円の支払超過であって、前年同期（５兆6,096億円の支払超過）に比べ、14兆6,471億円支払超過額が増加した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、１兆1,557億円の受取超過であって、前年同期（２兆1,562億円の受取超過）に比べ、１兆５億円受取超過額が減少した。財政投融資は、４兆7,790億円の受取超過であって、前年同期（6,300億円の受取超過）に比べ、４兆1,490億円受取超過額が増加した。国債整理基金は、前年同期の１兆5,262億円の受取超過から、３兆6,233億円の支払超過となった。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、６兆5,335億円の支払超過であって、前年同期（４兆7,719億円の支払超過）に比べ、１兆7,616億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（26兆1,934億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（135億円の受取超過）を除いた収支は、26兆1,800億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、25兆6,345億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（１兆1,268億円）に比べ、5,454億円増加して１兆6,722億円となった。

別表１

財政資金対民間収支実績表

△印は支払超過（単位　億円）

区分	10月 収入	支出	差引き	11月 収入	支出	差引き	12月 収入	支出	差引き	計 収入	前年同期	支出	前年同期	差引き	前年同期	前年同期比
(1) 一般会計	36,443	34,483	1,961	38,569	71,412	△ 32,843	68,768	55,292	13,476	143,780	138,373	161,186	171,161	△ 17,406	△ 32,788	15,382
租税	32,423	3,528	28,895	35,764	4,794	30,970	65,175	6,643	58,532	133,362	129,086	14,964	13,926	118,397	115,160	3,237
税外収入	1,732	—	1,732	1,842	—	1,842	2,423	—	2,423	5,997	5,532	—	—	5,997	5,532	465